

市長から 市民のみなさんへ 26



山陽小野田市長 白井 博文

厚陽中学校の建て替え問題について

厚陽中学校の校舎建て替え問題については、新聞等で報道され、市民のみなさんもお存知のことと思います。中でも厚陽中に通う生徒、保護者のみなさんには当初、市としての明確な方針をお伝えすることができず、ご心配をおかけしたことと思います。この紙面を借りて市長としておわび申し上げます。

厚陽中の校舎の建て替えに関しては、旧山陽町が平成16年度に調査設計を行い、新市移行後の17年度に工事に着工する計画をしていました。しかし、17年4月に市長に就任した私が工事着工のストップを指示したという経緯があります。

厚陽中の生徒は約60人で、市内の中学校の中でも最小の生徒数です。そのような小規模校に7億～10億といわれる建て替え費用をかけることについて、費用対効果の面から再検討する必要があるのではないかと考えたのが、一旦、この事業を白紙に戻す決断を行った理由です。

校区の再編や小・中学校の一体的整備などを審議していただくために、近く設置される「市立学校適正規模適正配置検討委員会」において、この問題は話し合われることでしょう。今年中には、一定の方向性をもった答申をいただける予定と聞いております。その内容をもって、厚陽中の建て替え問題については、市長として最終決断を行うつもりです。

通学されている生徒、保護者のみなさんには耐震調査の結果など、安全面から不安を与えたことについて重ねておわび申し上げます。すぐに倒壊する恐れはないとはいえ、危険な校舎であるということは十分認識しています。生徒の安全を最優先に考えていることはもちろんのことですが、今しばらくこの問題に関しては時間をいただきたいのです。関係各位のみなさんのご理解、ご協力をお願いしたいと思います。

市政説明会を終えて

昨年11月から月2回行ってきた市政説明会が、5月14日の本山公民館で12校区すべて終えることができました。日曜日の午後7時からということで、家族団らんのひとときにもかかわらず、各会場たくさんの方にお集まりいただきありがとうございました。

厳しい財政状況の中、予算編成を行う上で、市民のみなさんにご理解とご協力をいただきたいという目的で始めた市政説明会でしたが、財政問題に限らず、す

べての分野で市の現状、課題をお伝えしたい、知ってもらいたいという気持ちで毎回行ってきました。

回を重ねるうち、このような説明会を通じて市民のみなさんの目線を直接感じる機会が、私にとって貴重な時間であることを実感するようになりました。市役所の中で「閉じた発想」になりがちな自分が、市民のみなさんと直接接し、場の雰囲気を感じることで新鮮な気持ちになれることができたのです。みなさんの目線が私の市政に臨む姿勢を正し、支えとなってくれたと言えるかもしれません。

時を置かず、再び構想を練り直して、市政説明会を再開したいと考えています。その際は、広報、ホームページでお知らせしますので、ご都合のつく限りご参加していただきたいと思います。



▲ 12会場で450人の方々にご参加いただいた市政説明会

お気軽に出前講座をご利用ください

市の個別の業務についての現状、課題など職員が直接出向いてお話しする「出前講座」は昨年の12月よりスタートした新しい事業ですが、5月末現在で16件のご利用をいただいています。ごみ、福祉、教育などさまざまな分野で生涯学習の一環としても役立つメニュー（次ページ参照）をそろえています。この一覧表にないものも柔軟に対応することが可能です。

10人程度の集まりなら、場所、時間もできるだけご希望に添える形で職員を派遣しますので、まずはお気軽に広報広聴課（☎82-1133 FAX83-9336）までお問い合わせしていただければと思います。みなさんのご利用をお待ちしています。

**6・7月の
対話の日**

6月22日(木) 南平原自治会館
7月27日(木) 山川公会堂
※19:00から 1時間30分程度です

「市長から市民のみなさんへ」についての
ご意見、ご感想をお寄せください。
〒756-8601 山陽小野田市広報広聴課
(FAX)83-9336 (E-mail) ki-kouhou@city.sanyo-onoda.lg.jp